

資料2

加賀市健康福祉審議会 健康分科会資料
平成 27 年 7 月 27 日

**(1) かがし健康応援プラン(第二次)の
概要について**

かがし健康応援プラン21(第二次)

(計画期間：平成25年度～34年度)

けん 健康診断を
毎年受けよう

こ 子どものころから
早寝・早起き
朝ごはん

う 運動しよう

か 間食は時間と
量を決めて

が がん検診を
受けよう

し 受動喫煙
防止対策推進

 加賀市 市民部健康課
TEL 72-7865
(加賀市大聖寺南町二41番地)

加賀市の実態・現状

【少子高齢化の実態】

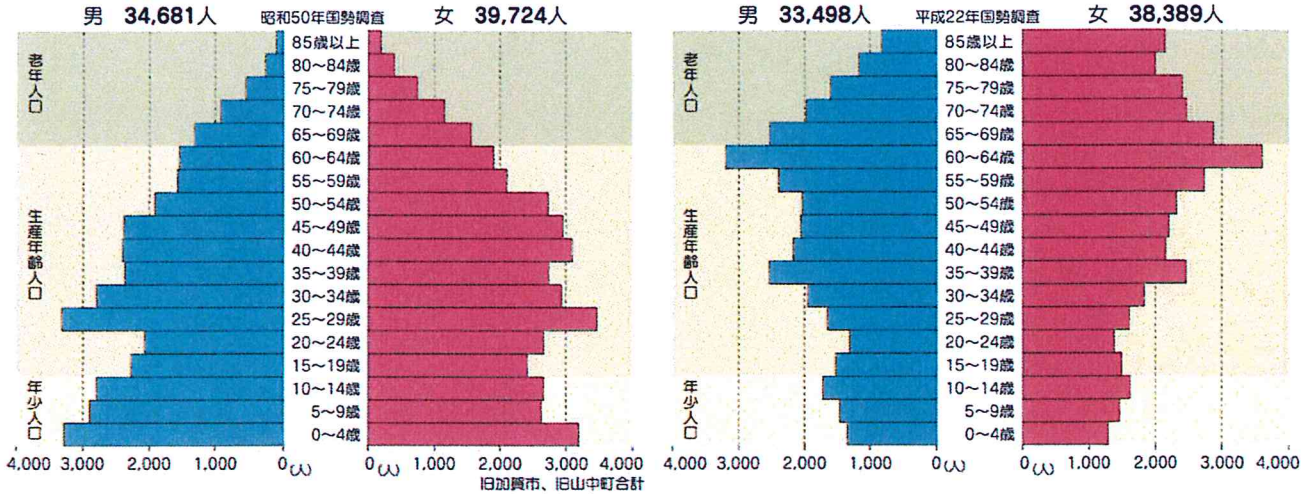
● 図1、表1より、昭和50年と平成22年を比較すると、「14歳以下人口（年少人口）」と「15～64歳人口（生産年齢人口）」の占める割合は減少し、「65歳以上人口（老年人口）」の占める割合が増加しています。

このことから少子高齢化が進んでいることが分かります。

図1 人口ピラミッド

昭和50年10月1日現在(1975年)
総人口：74,405人

平成22年10月1日現在(2010年)
総人口：71,887人



● 表2より、加賀市の人口は減少傾向にあります。また、人口減少率は4.31%と南加賀の4市町（加賀市、小松市、能美市、川北町）の中で一番高い減少率となっています。

表1 年齢3区分別人口

表2 市町別人口増減率

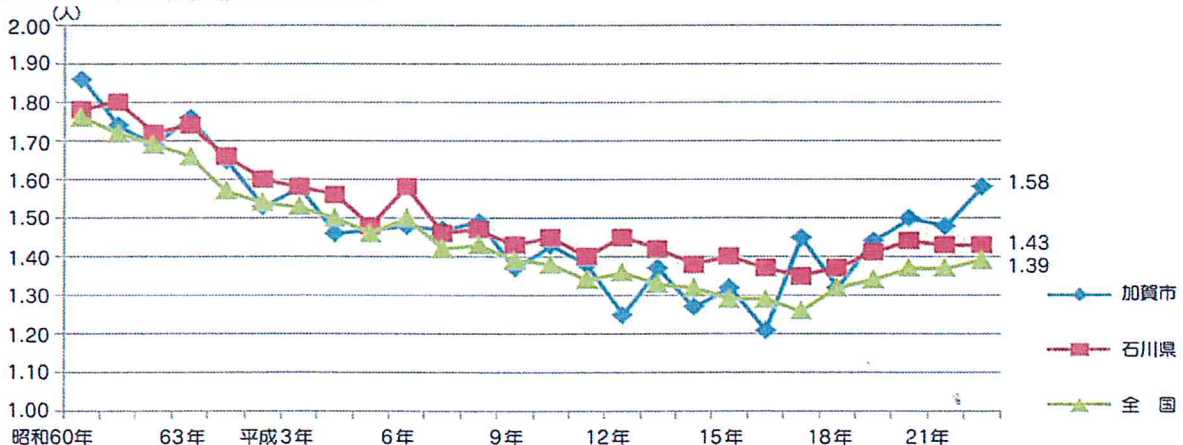
区分	昭和50年		平成22年	
人口数	74,405		71,887	
65歳以上人口(構成比)	7,245	9.7%	20,027	27.9%
15～64歳人口(構成比)	49,698	66.8%	42,810	59.6%
14歳以下人口(構成比)	17,472	23.5%	8,954	12.5%

区分	平成17年	平成22年	増減数	増減率
加賀市	74,982	71,887	△3,095	△4.31
小松市	109,084	108,439	△645	△0.59
能美市	47,207	48,688	1,481	3.14
川北町	5,677	6,151	479	8.35

● 図2は、合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの人数）の推移です。現在の人口を維持するために必要とされる合計特殊出生率（人口置換水準）は概ね2.07人とされていますが、加賀市の数値は、全国、石川県と同様にそれを下回っています。

このことから今後、人口が減少していくことが予測されます。

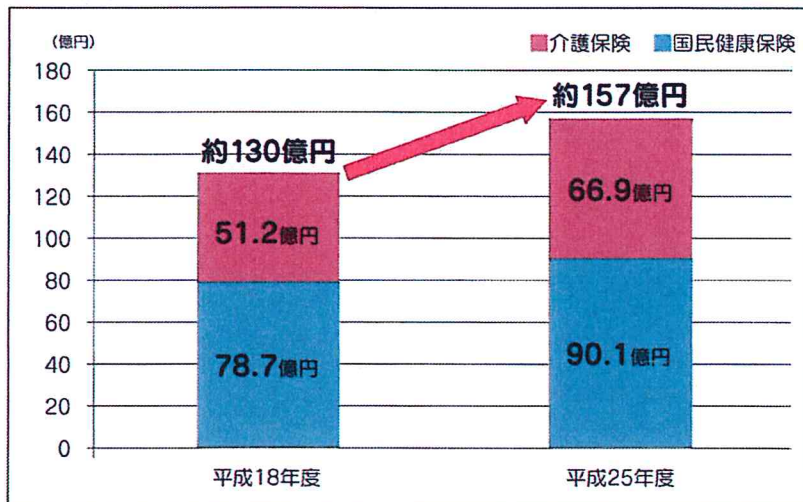
図2 合計特殊出生率の推移



【加賀市国民健康保険と介護保険の予算状況】

- 加賀市の社会保障費のうち、国民健康保険の予算は11.4億円、介護保険の予算は15.7億円、平成18年度から平成25年度にかけて増加しています。(図3)

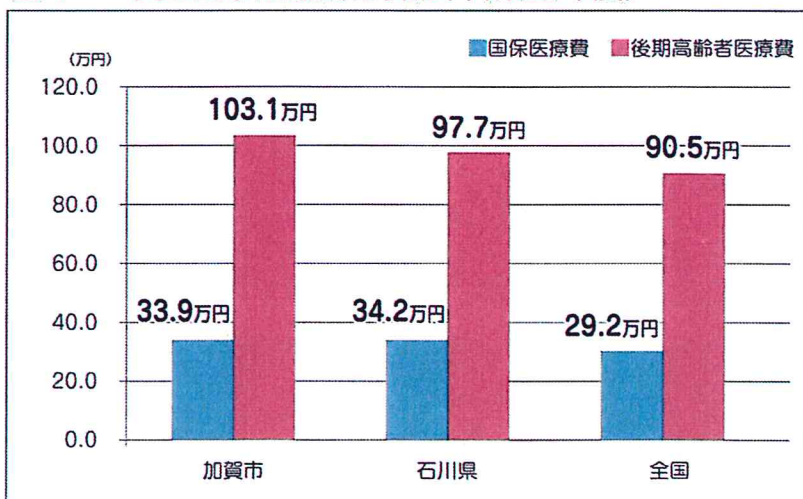
図3 加賀市国民健康保険と介護保険の予算状況



【一人当たり医療費の状況】

- 加賀市の一人当たり国民健康保険医療費や後期高齢者医療費は、全国と比べ高い状況です。(図4)

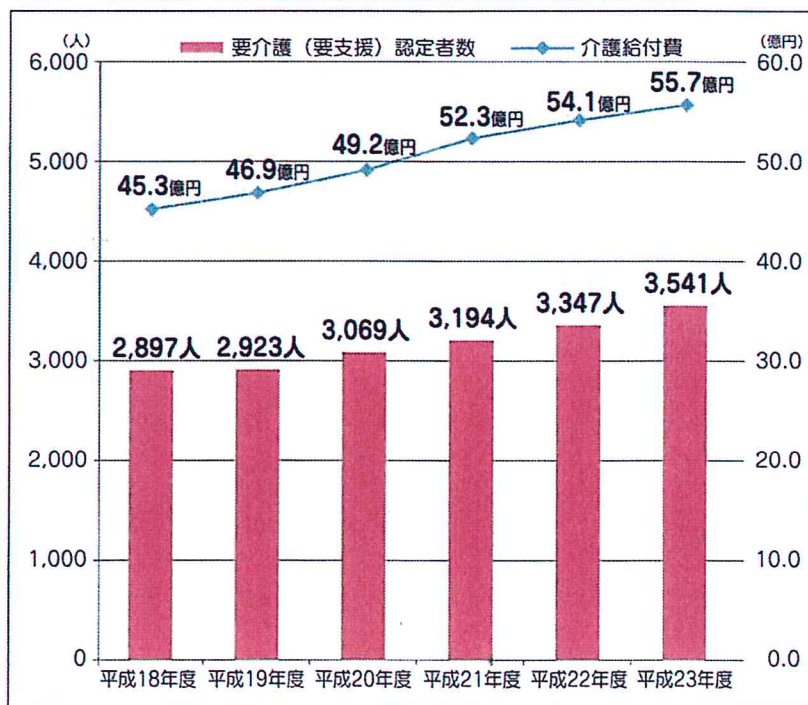
図4 一人当たり医療費の状況(平成22年度)



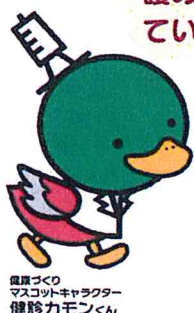
【介護保険の状況】

- 要支援・要介護認定者数は年々増加しています。それに伴い、介護給付費も増加しています。(図5)

図5 要支援・要介護認定者数と介護給付費の推移



人口の高齢化に伴い、今後ますます医療や介護の問題が深刻になっていきそうだね。



「かがし健康応援プラン21(第二次)」とは

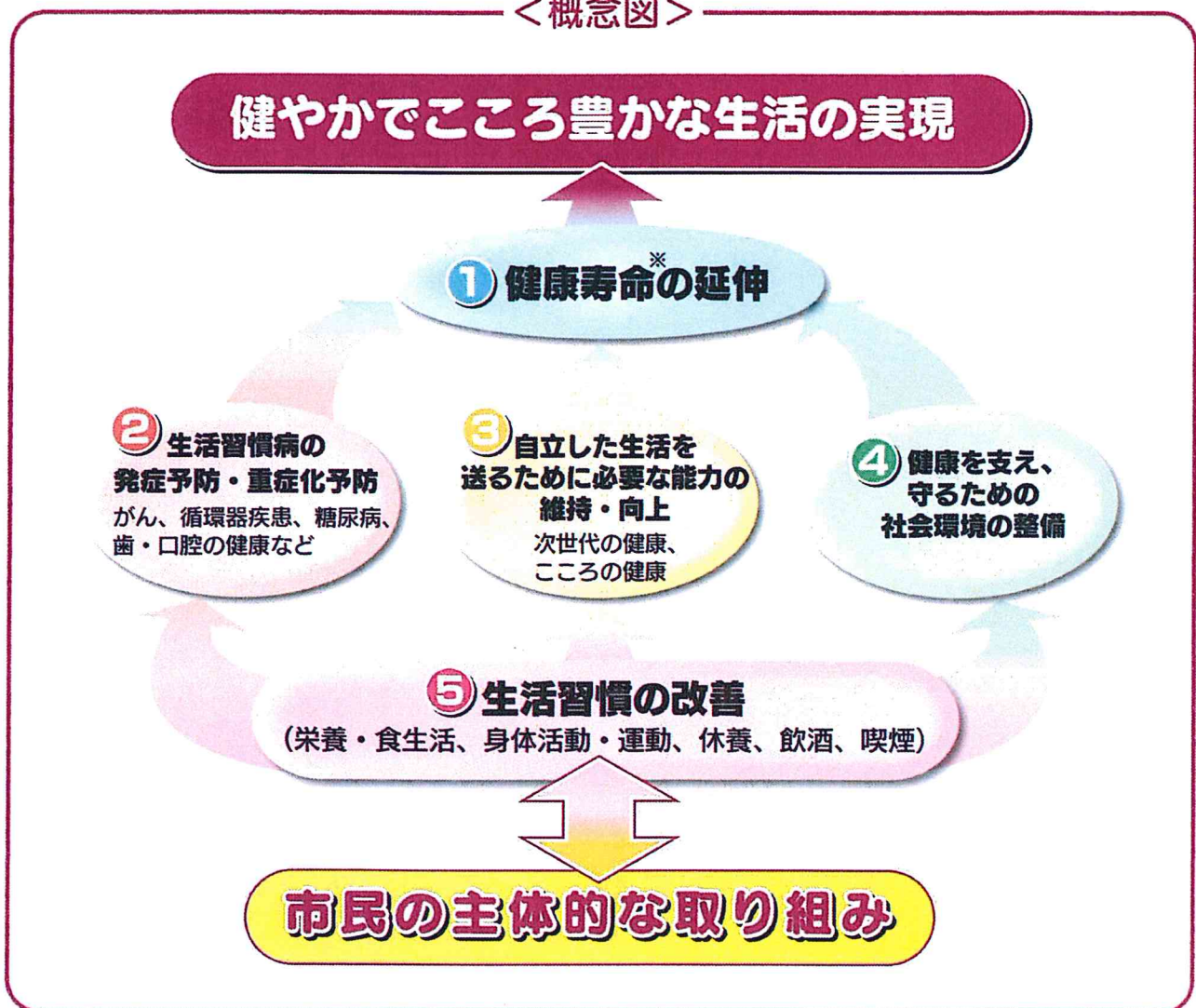
＜計画の方向性＞

国が策定した「健康日本21(第二次)」は、21世紀の日本を「急速な高齢化や疾病構造の変化により、生活習慣病に係る医療費が増大し、疾病による負担が極めて大きな社会になる。」と捉えています。

そこで、第一次(平成12年度～平成24年度)に引き続き、一次予防(生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病の発症を予防すること。)に重点を置き、かつ、個別の生活習慣病の予防を重視した取り組みを推進するため、5つの基本的な方針が示されました。

加賀市では、この方針をもとに「妊娠期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた健康づくり」を総合的に推進していくことを目的とし、『かがし健康応援プラン21(第二次)』を策定しました。

＜概念図＞



※健康寿命:日常生活が制限されずに健康に生活できる期間